

プラスチックとプラスチックリサイクル

解説と解答 プラスチック・リサイクル編 リサイクル製品を探そう

ワークシートの目的 リサイクル推進の阻害要因の1つに、リサイクル製品の販売伸び悩みがあります。リサイクル製品は、新原料を用いたものより高い場合がありますが、大量に利用されることにより、価格が新原料製品と変わらないものも出てきています。ここでは、身近にリサイクル製品があることを認識させ、リサイクル製品利用意識を高めます。

授業の流れ

導入

ワークシートを配り、それぞれのマークの意味を説明します。



PETボトルリサイクル推奨マーク。再生ペット樹脂の使用を認定した再用品に付けられているマーク



牛乳パックで作られた再生紙に付けられているマーク



古紙を使った再生紙に付けられているマーク。数字は古紙の使用割合。100 = 100%古紙使用を表し、50は50%の使用率という意味。

時間の目安 (10分)

調査

家庭やスーパーマーケットなどで調査させます。スーパーマーケットなどで調査を行うときは、事前に連絡し、了解を得ておく必要があります。あらかじめグリーン購入ネットワーク (<http://eco.goo.ne.jp/gpn/>)などで、リサイクル製品を調べておくとしやすい。

発表

順番にマークが付いていた製品を発表させます。
時間の目安 (35分)

指導のポイント

身近にリサイクル製品がたくさんあることを認識させる。

データ・関連資料

プラスチック図書館 (リサイクルの法律、プラスチックの種類別リサイクルのしくみ、リサイクル関連マーク一覧)
PETボトルリサイクル推進協議会HP (ペットボトルリサイクルをもっとくわしく)

このワークシートには解答はありません。生徒への説明については、上記のデータをご活用ください。